

## 豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称） 新規事業化が決定

国土交通省から、豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）の新規事業化の決定が発表されました。

国土交通省の公表を受け、豊橋市長のコメントは、以下のとおりです。

### 【豊橋市 浅井由崇市長のコメント】

この度、東海3県で初となる、本市と新城市の2市にまたがる豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）が新規事業化されました。

豊橋市にとって、本市初となるインターチェンジを設置することは、長年の悲願であり、この度の新規事業化を大変嬉しく思うとともに、これまで御尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝いたします。

平成30年より、新城市と共同で、関係各機関と計画検討・調整を重ねてきた結果が実を結び、新規事業化の採択を受けることができました。

このインターチェンジの実現により、本市の製造業や農業等のポテンシャルを高め、さらには、新たな人流を促すことで周辺地域の活性化が期待できます。

今後も豊橋市と新城市が協力し、国土交通省、中日本高速道路(株)、愛知県等のご支援をいただき、早期の開通を目指し、事業を進めてまいります。

## 【事業概要】

■名 称：豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）

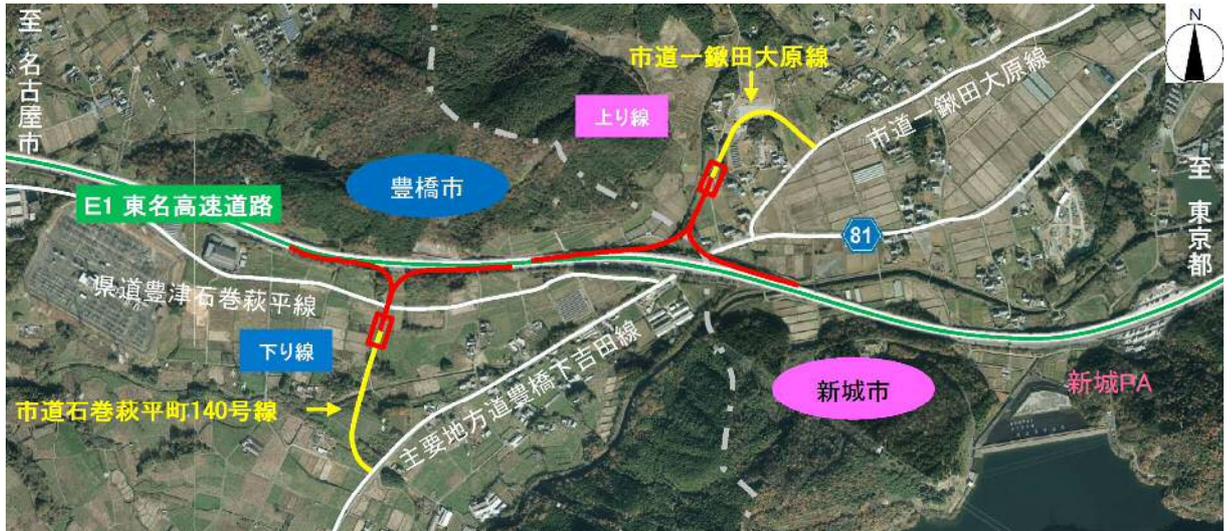
■路線名：第一東海自動車道（東名高速道路）

■連結位置及び連結予定施設

連結位置：上り線 愛知県新城市富岡、下り線 愛知県豊橋市石巻萩平町

連結予定施設：上り線 新城市道一鍛田大原線、下り線 豊橋市道石巻萩平町140号線

位置図



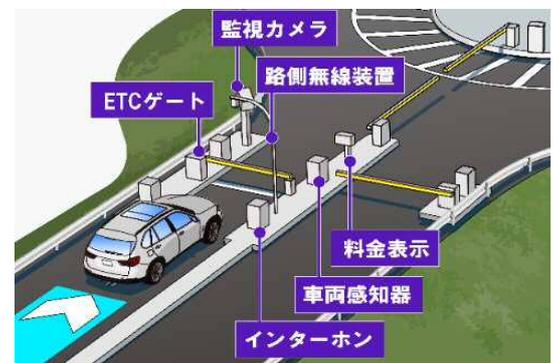
料金所イメージ図

■管理・運営形態

運用形態：フルインター形式

運用車種：ETC 車載器を搭載した全車種

運用時間帯：24 時間



## 【整備効果】

■【産業活動の支援】

企業団地へのアクセス性が向上し、新たな雇用の創出、産業振興に寄与

■【地域活性化・観光振興】

観光地へのアクセス性が向上し、観光客の増加、地場産業を活用した地域活性化に寄与

■【救急医療】

医療機関への搬送時間が短縮し、救命率の向上に寄与

■【防災機能の強化】

新たなアクセス道路を確保でき、確実な支援に寄与

問合せ 建設部 道路建設課 専門員 森田（電話 0532-51-2531）